

ルクセンブルク経済・金融情勢（2016年5月）

1. 経済

（1）統計情報

- 2016年4月のインフレ率は年率で+0.1%（前月は+0.1%）。（4日付統計局プレスリリース）
- 2016年4月の失業率は6.6%（前月は6.5%、前年同月は6.9%）。（24日付統計局及び職業安定所プレスリリース）
- 2016年の経済成長予測は年率で+3.1%。（11日付統計局プレスリリース）
- 2015年の財政赤字は、予算編成時には5億6830万ユーロの見込みであったところ、実際は4億6070万ユーロ。（27日付コティディアン紙）
- ルクセンブルクの国際競争力は、国際経営開発研究所が発行する国際競争力年鑑2016によると、世界第11位（前年は6位）。上位3カ国・地域（前年順位）は、1位香港（2位）、2位スイス（4位）、3位米国（1位）、今回新たに上位10カ国に躍進した国は7位アイルランド（16位）、8位オランダ（15位）。（31日付ヴォルト紙電子版及び6月1日付Chronicle.lu電子版）
- 2016年4月の消費者信頼感指数は+7（前月は+10）。同指数は、国内経済状況及び失業率、個人の家計や貯蓄意思の見通しを数値化、集計して算出。（2日付中央銀行プレスリリース）

（2）政府事業

- 政府は、年間予算の黒字化を目指していたところ、税制改革の影響を重く見て、最小限の財政赤字を維持することへ目標を変更。（21日付ヴォルト紙）
- 政府は、宇宙での資源調査と科学的計測を可能とする初のナノ衛星の開発・製造に関して、宇宙資源掘削会社Deep Space Industries（米国）と協定を締結。（6日付ヴォルト紙電子版）
- 政府は、9日、NATO Support and Procurement Agency（NSPA、ルクセンブルク所在）との間で、NSPAに対して5年間データセンターを提供する合意を締結した。同データセンターは、2016年末に運用を開始する見込みで、NSPA情報システムのバックアップ機能を担うことになる。（9日付Chronicle.lu電子版及び10日付ターゲブラッド紙）
- 政府は、19日、EUの資金を原子力関係に利用することに疑問を呈し、同資金はむしろ再生可能性エネルギー研究に費やすべきとするコメントを発表した。前日18、欧州委員会事務局からリークされた文書が、次世代型の小型でフレキシブルな原子炉の研究開発の推進を示唆し、さらに遅くとも2030年までに新型原子炉を欧州に建設すると記していた問題に対して、ルクセンブルク政府の立場を表明したもの。（19日付ターゲブラッド紙）

●シュナイダー経済相は、31日、当国プロモーション組織 Luxembourg For Business を Luxinnovation と統合し、新たなプロモーション組織 Trade & Investment Board を設立すると発表。(31日付ヴォルト紙電子版)

(3) 企業情報

●ICT Spring Europe 2016 (当地で毎年開催されている世界最大級の ICT 関連イベント) が 10 日及び 11 日の日程で開催された。今回はフィンテック、宇宙産業、ヘルステックなど幅広いテーマを設定。日本からは ICT 関連のベンチャー企業 4 社が会場にブースを設置し、事業説明を行った。(10日付 Chronicle. lu 電子版)

●SES 社は、4月29日、高回線容量衛星 (HTS) を運用する O3b Network 社の株式を買い増し、持ち株比率を現在の 49.1% から 50.5% へ高める計画を発表。(1日付ターゲットブラッド紙及び 4月29日付 SES 社プレスリリース)

●SES 社は、19日、インドネシアの通信大手 IT Telkomunikasi Indonesia 社と戦略的パートナーシップを締結。(19日付同社プレスリリース)

●ヨーロッパ最大の格安航空会社 Ryanair は、19日、ルクセンブルクとロンドン (英国)、ポルト (ポルトガル) をそれぞれ結ぶ便を 9月1日から運行すると発表。各便の航空券のオンライン予約も同日に開始し、航空券の最低価格はロンドン便で 19.99 ユーロ、ポルト便で 24.99 ユーロ。同社の Kenny Jacobs チーフ・マネージング・オフィサーは、ロンドン便及びポルト便が成功すれば、将来的にはルクセンブルクからダブリンやバルセロナ、リスボンなど他都市へのフライトも検討したいとコメントした。(19日付ヴォルト紙電子版)

●欧州委員会は、Amazon 社に未払い税額 4 億ユーロを請求するようルクセンブルクに求める報告書を 7 月に出す見通し。(24日付コティディアン紙)

●ArcelorMittal の Michel Wurth 取締役は、中国鉄鋼業の生産過剰等によって鉄鋼の国際価格が低迷しており、欧米諸国政府は反ダンピングの措置を執るべきだと発言。(25日付コティディアン紙)

●ルクセンブルク空港会社は、同社の経済効果が当国の 2015 年 GDP の 5% 分に相当すると発表。(27日付統計局プレスリリース)

2. 金融

●ルクセンブルク証券取引所は、18日、BiSoho S. A. S. 社 (中国の大手織物会社 Shandong Ruyi Technology Group Co. Ltd. の子会社) ハイイールド債の上場を許可。(26日付 Chronicle. lu 電子版)

●行政委員会は、27日、グラマーニャ財務相の提案に基づき、Jean-Pierre Faber 氏を金融監督委員会 (CSSF) の執行委員に任命するべく、大公殿下に提案。同氏は、2016年9月1日から着任予定。(27日付財務省コミュニケ)

- Francoise Thoma氏は、ルクセンブルク国立貯蓄銀行（BCEE）のCEOに指名された。同氏は6月1日付で着任する予定。（27日付ヴォルト紙電子版）
- 当国経済省関係者は、ルクセンブルク税務当局と企業との間で口頭にて課税情報をやりとりする新手法が導入されるという税務関係者の話を5月24日付ベルギー日刊紙「エコー」が掲載した件で、事実関係を否定。（25日付ヴォルト紙）

3. 主な政府動向

- ギョーム皇太子同妃両殿下は、経済ミッションを率いて5月2-6日の日程で中国を訪れ、シュナイダー副首相兼経済相も同行。一行は、自動車分野における研究開発拠点として整備された工業団地・上海国際汽車城を訪問し、同社がLuxinnovationと協力することを確認した。また、ルクセンブルク商工会議所は中国国際貿易促進委員会と観光における国際商取引に関する2つの協定を交わした。（7日付政府公報及びヴォルト紙）
- シュナイダー副首相兼経済相は、13日、ルクセンブルクにおいて中国国家工商行政管理総局（SAIC）のZhang Mao（張茅）局長と面談し、ルクセンブルクと中国が多分野での協力を強化するための覚え書き（MoU）を締結。（13日付経済省コミュニケ）
- アンリ大共同妃両殿下は、10日から12日にかけて、ニーニスト大統領の招きでフィンランドを公式訪問。同訪問には、シュナイダー副首相兼経済相、アセルボーン外相、ディシュプール環境相が同行したほか、大規模な経済ミッションも同行した。（10日付政府公報）
- ギョーム皇太子同妃両殿下は、経済ミッションを率いて19日から25日の日程で米国東海岸を訪問。同訪問にはシュナイダー副首相兼経済相も同行し、ITへの投資に積極的なBNY Mellon銀行頭取など同地域の企業代表らと面談したほか、ITベンチャー企業などを訪問した。（26日付経済省及びChronicle.lu電子版）
- グラメーニャ財務相は、12日、欧州復興開発銀行（EBRD）の運営委員長に選出された。任期は1年。（13日付経済省コミュニケ）
- グラメーニャ財務相は、24-25日の日程でブリュッセルにて開催のEU経済・財務相理事会（ECOFIN）に出席。（23日付財務省コミュニケ）
- シュナイダー経済相は、26日、ブリュッセルにてEU競争力理事会に出席。デジタル単一市場に関し、国境を越えた電子商取引に対する障壁を緩和する新規規制を議論した。（27日付Chronicle.lu電子版）

※当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。